

公園等で使用するスポーツ用品（車輪のあるもの）による子供の危険

～ヒヤリ・ハット調査を実施しました～

都では、製品等による事故の未然・拡大防止を図るため、日常生活における「ヒヤリ・ハット」を掘り起こすインターネットアンケート調査を実施し、その結果を都民に情報提供しています。

今回は「公園等で使用するスポーツ用品（車輪のあるもの）による子供の危険」について、都内及び近郊にお住いの**保護者 3,000 人**に調査しました。



《 アンケート調査対象：スポーツ用品（車輪のあるもの）例 》



子供用自転車



ペダル無し二輪遊具

自転車類

（他、三輪車、一輪車など）



二輪式



三輪式

キックスケーター類



スケートボード

カスターボード

スケートボード類



インラインスケート

ローラースケート

ローラースケート類

アンケート結果（概要）

- 「子供がけが及びヒヤリ・ハット経験をした」は **4 割を超え**、そのうち約 4 分の 1 が「**けがをしたことがある**」との回答
- 製品毎のけが及びヒヤリ・ハット経験は計 2,276 件（複数回答）で、「けがをした」1014 件のうち、「医療機関を受診」208 件、**「入院」55 件**
- けが及びヒヤリ・ハット経験は、1 歳から徐々に増加し、**6 歳が最も多く 377 件**、以降年齢が上がるにつれ減少
- 車輪付きスポーツ用品を使用する際、「**保護具を付けていない**」割合は、「キックスケーター類」で最も多く **63.7%**、ついで「スケートボード類」**54.9%**
- 発生場所**は公園が 850 件と最も多く、次いで歩道 623 件、車道 498 件の順

子供を事故から守るために

車輪のあるスポーツ用品を使用する際は、

- ◎使用前に**製品の使用方法、使用できる場所、交通ルール**をお子さんと一緒に確認し、適切に使用しましょう。
- ◎使用する際は**保護具（ヘルメット・プロテクターなど）の着用が習慣**となるように、**繰り返し**伝えましょう。
- ◎自転車に**乗る人全員が乗車用ヘルメットをかぶるよう**努めましょう。
- ◎小さなお子さんには保護者が付き添い、子供だけで使用しないようにしましょう。
- ◎子供の**成長に合わせた製品**を選びましょう。

詳しくはこちらをご覧ください。



<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp>



【問合せ先】

東京都生活文化スポーツ局消費生活部生活安全課
電話 03-5388-3055（直通）

けがの事例～アンケート結果より～

<自転車類>

- 子供がロードバイク（自転車）で車道を走行中、停車していたバイクが急に発進して**飛ばされ脳震とう、鎖骨骨折**で入院、手術。
（10歳・車道）
- 公園の坂道をペダル無し二輪遊具で降りていると、石がデコボコとしたところで、**バランスを崩して転倒。額と歯を強く打ち、すり傷と歯の変色**で病院に行った。（2歳・公園）



<キックスケーター類>

- キックスケーター三輪式でコーナーを曲がる際に後輪の**タイヤが縁石に引っかかり**、持ち手をつかんだまま転び、**持ち手に前歯を強打して前歯と歯ぐきに大けが**を負った。（2歳・自宅の敷地内）



<スケートボード類での事例>

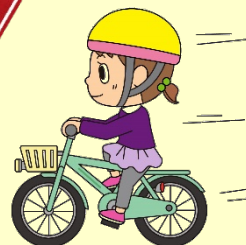
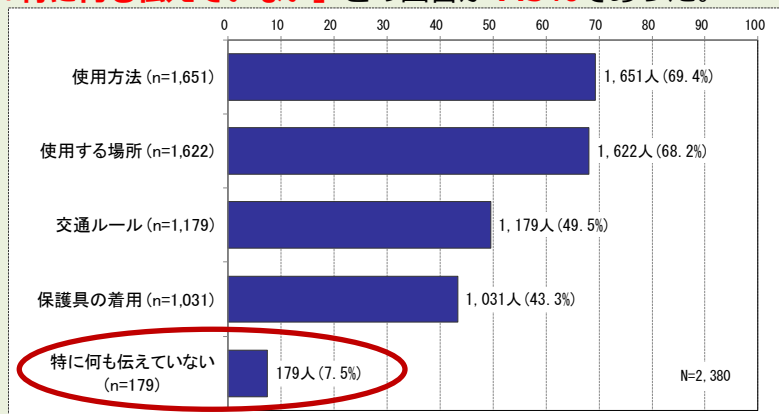
- キャストボードで道路わきの**溝にはまり転倒した。おでこを5針ほど縫う裂傷**を負った。（8歳・歩道）

使用前の注意～アンケート結果より～

子供が使用する車輪付きスポーツ用品を購入したことがある、**2,380**人に「製品を使用する前に子供に伝えていること」を聞きました。

「使用方法」や「使用する場所」を約7割の保護者が子供に伝えていた一方、

「特に何も伝えていない」との回答が7.5%であった。



詳しい内容は、こちらをご覧ください。



※報告書はホームページからダウンロードできます。



https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/anzen/hiyarihat/child_kouen_sports_syarin.html